

## <ちょっと庭のまめ知識>

ツツミグリーン企画

### ○カメムシについて

ミントなどのハーブを植えたらカメムシが減ったという情報もある。(ホームページより)

市販の薬剤：木酢、竹酢、カメムシキンチョール、スーパーカメムシジェット、ワールドスプレー

### ○ヘビについて

ヘビ・ムカデ忌避剤：ヘビやムカデの敏感な臭覚を利用し、放散された刺激臭で進行方向を惑わし、回避させる商品。(いもり・ヤモリにも適応)

塩素系のカビ除け剤：カビキラーなども苦手→死んでしまった事例も  
ヘビは塩素の臭いが苦手

ヘビの苦手なもの：煙の臭い、唐辛子の臭い

ヘビの好きなもの：たんぱく質（卵など）

### ○ムカデについて

家の周りに硫黄や石灰をまいたり、畳と畳の間にムカデキンチョールをまいたりする。

### ○ツバメ（益鳥）について

民家の軒先など人が住むにぎやかな環境に営巣するという習性がある。これは、天敵であるカラス等が近寄りにくいからだと考えられている。日本においては、水稲栽培で発生する害虫を食べてくれる益鳥として古くから大切にされている。

### ○メジロ（益鳥）も多い

食性は雑食だが、花の蜜や果汁を好み、育雛期には虫なども捕食する。  
花の蜜を大変好むため花期に合わせて行動し、春には好物の花の蜜を求めて南から北へと移動するものもいる。特に早春は梅の花に群がる様子がよく観察され、「チー、チー」という地鳴きで鳴き交わす様子がよく観察される。

### ○ゴキブリについて

ゴキブリは、タイムの香りが苦手です。タイムの精油をコットンに垂らし、ゴキブリがよく出る場所におくと効果があります。

タイムの生葉を置いてゴキブリが出にくくなるそうです。

またゴキブリの殺虫剤としては、除虫菊（ピレスラム）が有効。

人体には全く害のない殺虫剤として昔から利用されてきたハーブです。花を摘み取り乾燥させ、砕いて粉末にし、同量のアルコールとよく混ぜて保存します。

使用の際は、水で希釈してゴキブリの通り道にまきます。

## ○蚊について

### ①発生源

アカイエカ：池、ドブ、下水側溝、浄化槽

ヒトスジシマイカ（ヤブ蚊）：墓に供える花筒、竹の切り株、空き缶、植木鉢の水受け、古タイヤ

行動範囲：半径10～30m

家を中心として、この範囲に蚊の発生場所がないことが理想

### ②気温

気温が15℃を超えると血を吸い始める。

26～30℃位で最も活動が活発になる。

夏以外でも暖かければ蚊に刺されることがある。

### ③風

蚊は体重が軽く、風速が2mを超えると風に向かっては飛べなくなるため、刺されにくくなる。ただし、風に乗って風下へは移動しますので、「絶対に刺されない」というわけではない。

### ④高さ

基本的には3階くらいの高さまでしか自力で飛ぶことはできない。

人や荷物について移動することもあるので、高層階であっても、蚊が出現する可能性はある。

### ⑤蚊に好まれる人

蚊の「好み」をすべて満たしている人：お酒を飲んで呼吸数が増し、体温が上昇して汗をかいている人。

黒い服にも集まる（黒：白=10：1）。

### ⑥撃退法

蚊の発生源である水場を無くすことが一番。

近くに池などの発生源がある場合、網戸に虫除けスプレーをする、虫が集まる周波数をカットする照明器具（[「ムシバールパネル」使用の『エクステリア常夜灯』（5万7500円～8万2950円／松下電工）](#)）などもある。

・蚊が嫌がる植物：モスキートブロッカー、蚊寄不、ニオイゼラニウム、ユーカリ、スイートバジル、カレンソウ

→効き目が無く蚊が集まってきたという例もあるようである。

ユーカリ、スイートバジル、カレンソウ：出す香りには蚊が嫌いな成分が含まれている。鉢植えにして窓辺に置けば蚊の侵入を防ぐことができ、庭に植えて庭仕事の時に軽く揺さぶって香りの成分を放出させれば、虫よけスプレーの代わりになる。

イタリアでは、窓という窓に必ずと言っていいほどバジルの鉢植えが飾ってあるのだそうです。

米国では同じ目的で、ペニーロイヤルミントやサザンウッド、ミント、タンジーなどの鉢を窓辺におきます。

手足に葉っぱを軽くこすりつけたり、もんだりしてからポケットや帽子に入れておけばさらに効果的です。

また、乾燥させたラベンダーの束を窓辺においたり、家の中に侵入した蚊を干したミカンの皮や杉の葉に火をつけていぶり出す方法なんかもあるようです。

## ○虫が嫌がる植物について

エコガーデンの理想として、本当にエコを実践するなら、害虫駆除に殺虫剤は御法度。花や菜園についての害虫駆除や、ムカデやアリ、ナメクジ退治に有害な殺虫剤を使っていますか？庭に撒かれた化学薬品は、雨が降って土に浸透し、それを植物が吸収したり、庭で土遊びをする子供たちに害を及ぼす。その庭でできた果実や野菜ももちろん有害物質を吸収することになる。自然に害を及ぼせば、人間に返ってくるもの。

### ①益虫に食べてもらう

アブラムシはテントウムシやヒメバチが食べてくれるという具合。殺虫剤を使えば、害虫を食べてくれるこの捕食生物をも殺してしまう。

益虫：ハナカメムシ、ムカデ、オサムシ、アブ、クサカゲロウ、テントウムシ、ヒメバチなど。

益虫が住みやすい環境を作ること。益虫の好む花をつける、ニンジン、セロリ、パセリなど一年、二年生のセリ科の植物や、ソバ、ノコギリソウ、アカンサス、キンレンカ、ディルなどを植える。

厄介で気持ち悪いのが、雨上がりにどこからともなく出沒するナメクジ。ナメクジをおびきよせるために缶の中に野菜くずを仕掛けたり、ビールも効くとか。こればかりはまめに駆除していくしかなさそう。

### ②害虫を食べてくれる小鳥などを呼び寄せる

ベリー類など実のなる木を植える。鳥の餌台箱を庭に設置してみよう。ちなみにエサは冬場のみ用意し、夏場は庭の害虫を食べてもらうようにする。エサは穀物や木の実、種子などがいい。

### ③害虫が嫌う植物を植える

果実のなる木の下にニラを生やすという具合。これをコンパニオンプランツ（表参照）といって2種類の植物がお互いを助け合いながら成長を促す。

\*庭の生き物が食物連鎖できる庭を創作するのも良いですね！

○カラスについて

- ・繁殖期にはベランダの針金ハンガーを巣材として取りに来ますからハンガーを置かないようにする。
- ・カラスは学習能力が高いため、刺激を変化させることが重要。
- ・テグスをはる：羽が引っかかる、光るものが苦手。
- ・光物による対策：CDなどの光物を設置する。
- ・音による威嚇：発砲音やロケット花火の音など
- ・目玉模様
- ・カラスの死体
- ・案山子
- ・色

※カラスは臭いがわからず、視覚で餌を探す⇒臭いのする植物での撃退はできない。

※植物での撃退を行うならとげのある植物などを用いることが適当

<http://homepage3.nifty.com/shibalabo/crow/taisaku/boujo/boujo.htm>

○犬猫よけ

コリウスの1種で、犬、猫、狐がこの植物の香りを嫌うため、忌避効果があります。

○ハトよけ

体を傷つけるものが嫌いとされているハトはバラのトゲが苦手。

バラの植えてある場所には近づきません。

また、バラの香りがするローズゼラニウムを代用すると、1年を通してハトよけの効果が期待できる、とNHKの番組で報道されて以来、ローズゼラは大人気。今ではなかなか苗が手に入らなくなってしまいました。(園芸ネットには6月半ば頃にやっと入荷してきます。

○ハエよけ、アリよけ

園芸ネットが苗を取り寄せているハーブの生産者さんのイチオシはタンジー(キク科)です。農家ばかりの地域で堆肥を使うため、周辺にハエが多いそうですが、タンジーを家のまわりに植えておくとハエが入ってこないとか。また、アリも入ってきません。

タンジーを干したものでも同じ虫よけ効果があり、洋服たんすに入れたり、カーペットの下に敷くとノミよけにもなります。

また、ハエはローズゼラニウムの香りも苦手なので、ハエが入ってきやすい窓の下やベランダに植えると効果があります。